

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	「宗教」とは何か (What is religion?)			新座(Niiza)
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	宗教学的思考を身につける			
担当者名 (Instructor)	江川 純一(EGAWA JUNICHI)			
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)	
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)	
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目			

授業の目標(Course Objectives)

「宗教」という語の多角的な検討や系譜学的な考察により、「宗教」という概念=用語に敏感になることを目指す。

We will aim to be sensitive to the word "religion" through a multi-dimensional examination of the concept and term of "religion", and genealogical consideration.

授業の内容(Course Contents)

本授業は、個別の宗教についての解説ではなく、「宗教」概念についての考察である。具体的には、19世紀後半以降の宗教研究の流れを紹介しながら、「信じる」でも「遠ざける」でもなく、「《宗教》について知る」という立場について考察したい。

This class is not a commentary on individual religions, but a reflection on the concept and the term of "religion". Specifically, introducing the flow of religious studies since the late 19th century, we would like to consider the position of "knowing about religion," rather than "believing" or "moving away from" it.

授業計画(Course Schedule)

1. はじめに：宗教学の言説空間。日本語の「宗教」について
2. 「宗教」概念をめぐる諸問題(1)：ビリーフとプラクティス
3. 「宗教」概念をめぐる諸問題(2)：「民俗宗教」について
4. 「宗教」はどのように研究されてきたか(1)：宗教起源論その1
5. 「宗教」はどのように研究されてきたか(2)：宗教起源論その2
6. 「宗教」はどのように研究されてきたか(3)：神観念について
7. 近現代イタリアにおける「宗教」
8. レヴィ=ストロースによる問題提起
9. マギア(呪術、魔術、魔法)論
10. 贈与論；クリスマス講義
11. 神話をいかに解釈するか(1) 19世紀の神話学
12. 神話をいかに解釈するか(2) 20世紀の神話学
13. 儀礼とは何か(1) 理論
14. 儀礼とは何か(2) 事例研究

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

ブックリストの本を一冊でも多く読むこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%)/中間レポート(30%)

テキスト(Textbooks)

毎回レジュメを配布する。

参考文献(Readings)

講義のなかで指示する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

教員作成の文献リスト <https://ameblo.jp/pezzazzoniano/entry-12476646103.html>

注意事項(Notice)